

**社会保障のため
政府の論拠突き崩す
参院特 山下議員が主張**

日本共産党の山下芳生議員は27日の参院社会保障・税特別委員会で、民自公3党合意で消費税増税分を公共事業などに注ぎ込む道をつけたと追及し、「社会保障のため」とする増税の論拠を突き崩しました。(論戦ハイライト)

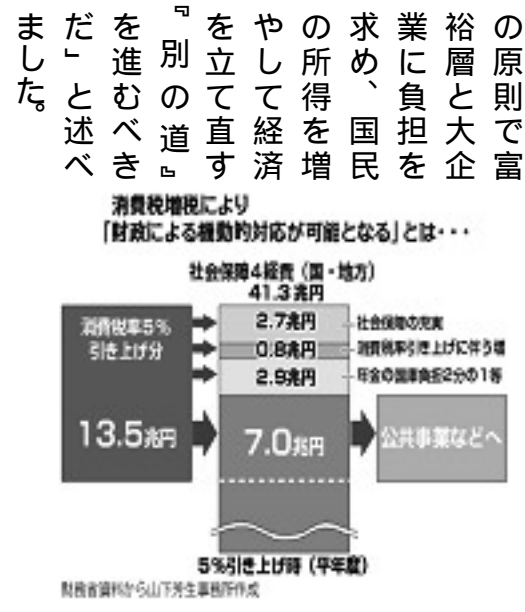
消費増税分民自公、公共事業に投入

山下氏は民自公3党が消費税増税法案の付則18条に「成長戦略並びに事前防災及び被災等に資する分野に資金を重点的に配分する」と付け加えたことを指摘。付則の条文を書いた宮沢洋一議員(自民)が「(増税で)かなり楽な部分が出てきて、今までできなかった政策が実現できる」と説明しているとして、「消費税増税で入ってくる13・5兆円を防災に名を借りた『公共事業』に重点配分する」ということだ」とたたきました。法案提案者の野田毅議員(自民)は増税で生まれる「ゆとり」を充てることについては「大きな意味ではそういうことだ」と認めました。

山下氏は、自民党が10年間で200兆円を公共投資するという「国土強靱(きょうじん)化基本法案」を提案し、民主党も整備新幹線をはじめ、東京外環道、八ッ場(やんば)ダムなど大型公共事業を次々と復活させているとして、「消費税増税の目的が『社会保障の充実』と『財政再建』から

『公共事業』へ変わってきている」と追及しました。

野田佳彦首相は「社会保障以外に回さない」といながら、「公的な部分で賄うのもあるが、財投資金や民間資金を投入しながら作っている」ということだ」と、増税分の投入を事実上、認めました。山下氏は、消費税が3%から5%に引き上げられた翌年には過去最大の補正予算が組まれ、大型公共事業のばらまきが行われたことをあげ、「同じ道を進んではならない」と強調。「増税するなら応能負担の原則で富



**集団的自衛権の行使容認へ
自民が野田内閣と共鳴
海外での武力介入に道**

自民党が国家安全保障基本法(概要)をまとめ(6日)、その中で集団的自衛権の行使をはじめ、幅広く海外での武力行使を容認する方向を打ち出しています。野田佳彦首相が国家戦略会議フロンティア分科会の提言を受け、集団的自衛権の行使を容認する方向への転換を示唆していることと響き合っています。

自民の法案概要は第10条で「我が国、あるいは我が国と密接な関係にある他国に対する、外部からの武力攻撃が発生した事態」に自衛権を行使すると明記。日本が攻撃されていない場合でも武力行使を可能とする、いわゆる集団的自衛権の行使を容認するものです。

自民党の閣僚経験者の一人は、「民主党政権のもとで日米の信頼関係がめまろしくなってきた。今度の法案で、日米安保をもう一度明確に位置付け、その中で双務性を明確にする」と述べます。日本が攻撃を受けたときだけでなく、アメリカが攻撃を受けたときにも共同で軍事行動をとるといっています。

いま集団的自衛権行使の論議が強まる背景について、元政府高官の一人は、「太平洋に出てこようとする中国の潜水艦な

東日本地震・12号台風への救援募金にご協力を

日本共産党は被災者の救済・支援のために、救援募金を引き続きお願いしております。ご協力をお願いします。
【郵便振替口座】
0017017198422
名義は、日本共産党中央委員会です。送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、かならず、「地震救援募金」である事を明記して下さい。ご協力よろしくお願ひします。
磯城郡日本共産党議員団

ど海洋戦力を、米海軍と日本の海上自衛隊が協力して抑え込むという戦略が動いている。(自民の法案作りは)その動きに対応したもので、民主党政権が進める動的防衛協力や南西諸島への自衛隊配備と同じだ」と指摘します。

自民党内には、憲法解釈の変更で集団的自衛権の行使を容認することには慎重論もありますが、「石破茂元防衛相はじめ積極派が押し切った(関係者)」といえます。

また、自民党案には「駆けつけ警護」など、海外派兵された自衛隊が現地での武力紛争に介入することを認める内容も含まれています。

法案概要は11条で、国連安保理などが決める「各種の安全保障措置等に参加する場合」を規定。「本条の下位法として国際平和協力法案(いわゆる一般法)を予定」と明記しています。自民党は、この「国際平和協力法案」をすでに国会に提出しており、現在も衆院の議院運営委員会が懸案とされています。

同法案では安全確保活動、警護活動、船舶検査活動などを自衛隊の任務として規定。警護活動などでは「事態に応じ必要と認められる範囲」で武器使用が認められます。自民党議員の一人は「自衛隊が治安の不安定な南スーダンに派遣されており、急ぐ必要がある」と述べます。

市民が大勢集まり暴動になりそうな場合や、殺傷力の高い武器を持つ蓋然(がいぜん)性の高い者による暴行などに対しては、「危害」「殺傷が許されず。抗議する市民に銃を向け、アメリカがイラクやアフガニスタンで繰り広げた「掃討作戦」を可能とする構造です。

民自公3党の事実上の大連立のもと、憲法9条破壊の動きが強まっていることに警戒が必要とされています。
2012年7月29日(日)

2012. 7. 31 NO. 564
日本共産党
磯城郡議員団だより
和也 Eメール info@k-shiba.jp
芝川西町結崎 8 6 2 - 7 0745-43-2415
吉田容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 1 1 3 - 5 090-5257-4446
森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 2 8 1 - 1 0744-33-8570
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 4 4 0 - 5 0745-43-2661



子どもの虐待

先日、田原本町新町に住んでいる母親が「長女虐待、逮捕送検」というニュースが飛び込んできました。

新聞報道では暴行に加えて、栄養障害があり、育児放棄の疑いもあるようです。町の担当課に問い合わせたところ、住民票が三宅町にあり、三宅町の保健師が対応していたという回答でした。

今回の事件を受けて、町として改善、検討することはないのでしょか？奈良県が作成したパンフ「児童虐待はみぢかな問題です。気づくだけでも守ることが出来る」には、「虐待から子どもを救え

るのは、周りの人です」

「あなたの連絡が、保護者の支援につながります」と書かれています。

事件後、近所の方から「大きな音を聞いて心配していました。しかし、町には全く連絡、通報はなかったそうです。平成二十三年度の通報件数は、田原本町二一件、桜井市一件です。育児、生活に

疲れていたたり、悩んでいる方はまだまだ居られます。通報、相談しやすい環境を整えることが求められています。

田原本議会議員 吉田容工



発展の鍵

ロンドン五輪が始まりましたね。現地との時差は八時間です。一日の仕事を終えて家に帰って来ると、午後の競技が始まると言う関係に有りますから、テレビ観戦を楽しむにはそう悪くは無いかもしれませんね。録画予約等上手に活用下さいね。

参加は二〇八の国と地域からで、今大会から参加国全てから男女の代表が参加し、全ての種目で男女の競技が行われます。回を重ねるごとに、こうした参加や種目の広がりが見られますよね。やっ

ぱり、世界はそれぞれの

お国事情がスポーツも含め文化が発展する方向で事が展開しているんですね。大前提に平和と経済発展は欠かせません。人類固有の文化の発展とは、経済活動と外交を含めた地域間交流無しには始まりません。この営み、大切なバロメーターですね。さあ、こうした観点で周りを眺めたらどうですか。先を見据えて、果たして順調と言える状況に有りますか。鍵はここですよね。発展の目は、市民が街頭で声を上げていく事からも、間違いなく始まっています。

川西町議会議員 芝和也



国民の声が通る政治を！

三宅町の町長選挙が終わりまりました。結果は表のとおりです。

今、野田政権を揺るがしている問題として、米海兵隊の垂直離着機オブスレイの岩国基地への持ち込み、10月からの普天間基地への配備問題、社会保障の一体改革と消費税増税問題、原発再稼働問題が国会内外で大きな問題となり、日米安保

三宅町町長選挙結果 2012年7月22日投票	
志野 孝光	2,083
置本 佳司	1,183
中岡 忠孝	1,057
投票率	71.43%
有権者数	6,147人

問題へと発展しそうな気配になってきています。また一方では、1月に国会の解散という動きを民主党の幹部が自民党に打診をしに行っているとの報道もあります。今こそ、「国民のための政治を」「住民の生活を守る政治を」の声を上げるときです。

先日、NHKのクロージアアップ現代で「デモは社会を変えるか声を上げる市民たち」と毎週金曜日の官邸前のデモを取りあげていました。各電力会社周辺でもデモが行われています。住民・国民が声を上げて住民のための政治を要求していかなくてはなりませんか。



防災訓練の講習会

先週の土曜日、午後7時から鍵公民館で防災訓練の講習会が開かれました。

講師は町内の西八尾自治会の柏田勝幸氏。柏田氏は「都市災害から守る技術者の会」に所属されていて、活発な活動をされています。私は初めての講習会でしたが、

柏田氏は幼い時の弟さんの事故死、そして阪神大震災を通して防災に生きることを決めたとおっしゃるだけに、防災に対して熱い思いが伝わってきました。

パソコンや自ら作られたレジメで阪神大震災の実状や災害対応、西八尾の実践、そして鍵地区の地震被害想定・・・まで、本当に地域に密着した説明をして下さいまし

た。「想像してみして下さい。災害が今、起こっていると・・・と言われるからバケツリレーの消火訓練、家具の転倒、その後の救助の仕方、パンストなどを使った応急手当のやり方、そして怪我人の運び方など手作り感あふれる人形や道具を使って具体的に指導して下さいました。

（私は「どなたか軽いやつ・・・」という講師の意に反して、毛布を使って6人で怪我人を運ぶ怪我人役をさせて頂きました。）この講習で私はまず自宅の緊急持ち出し袋の点検をし、今まで延ばしてきた家具の転倒防止策をさっそく実践しようと思えました。



田原本町議会議員 森良子